

9/23 今年もおいしい梨ができました
～荒尾梨品評会～

特産品である荒尾梨「新高」の品質向上とPRのため、JAたまなと荒尾梨部会はJAたまな荒尾市総合支所で荒尾梨品評会を開催しました。梨農家が自信作を37点出品し、梨の糖度・硬度・色・艶・形など品質を競い、厳正な審査の結果、最優秀賞「優等」に林田 政和さん(井川口)、ジャンボ賞に西嶋 修作さん(菰屋)が選ばれました。また、ゆめタウンシティモールでは、梨の販売会も開催され、多くの人でにぎわいました。



9/15 ゆめタウンシティモールが
リニューアルオープンしました!

緑ヶ丘地区の拠点である、あらおシティモールが、ゆめタウンシティモールに名称を変更して、リニューアルオープンしました。平成9年4月25日にオープンして、今年で25年。「ひとと文化に貢献するまちづくり」をコンセプトとして、26の新しい店舗が入り、さまざまな世代に楽しんでもらえるよう生まれ変わったシティモールに是非お越しください。



9/7 桜ゆりかご会が子ども未来基金へ
寄付されました

基金設置後の最初の寄付者である桜ゆりかご会が35年におよぶ活動の歴史に幕を閉じることとなり、会員の皆さんから寄付金をいただきました。松島会長は、「今は寂しい気持ち強いが、童謡の優しさや温かさを子ども達に伝えたい一心で頑張ってきた」と述べました。浅田市長が長年の功績を讃えたのち、「市主催のイベントでも美しい歌声をありがとうございました」と感謝を述べました。



9/3 「岱志高校野球部を応援する会」
が設立されました

設立総会が文化センターで開かれ、約230人が参加。同会は、県議会議員の島田 稔会長を发起人として、荒尾高校野球部OBらが中心となり設立。当日は、来年度から監督に就任予定の後藤 将和さんを招き、新生野球部を地域全体で盛り立てていくことを誓いました。後藤さんは高校時代、夏の甲子園に出場経験もあり、「子ども達ともう一度甲子園の土を踏みたい」と熱い想いを語りました。



100歳おめでとうございます!
すみくら 三千代さん(牛水上区)

6人姉弟の4番目として生まれ、戦後すぐに結婚し、夫婦で農業を営んでこられました。農作業で体が丈夫になったことが長生の秘訣だそうです。



100歳おめでとうございます!
ひびお トメカさん(金山上区)

結婚・子育てを経て、60歳でいくつも習い事を始め、充実した毎日を過ごされたそう。長生の秘訣は好き嫌いせず食べ、笑顔を絶やさないことだそうです。



ご長寿おめでとうございます!
えとう 江藤 オミオさん(古庄原区)

7月22日に108歳の誕生日を迎え、昨年に続き市内最高齢者となりました。植木町で生まれ、結婚後は、炭鉱に勤めるご主人とともに荒尾市に来ました。主婦業の傍ら、和裁の内職や畑仕事とよく働き、子ども4人を育て上げました。現在は、施設で元気に過ごしています。コロナ禍が収束し、孫・ひ孫・玄孫と会ったり、おでかけしたりしたいと話していました。



9/13 「こくんぞさん」で
伝統の巫女舞が再開されました

2020年2月から中止していた、伝統の巫女舞が四山神社秋季大祭「こくんぞさん」で披露されました。万田小の1年生をはじめ多くの参拝者が見守るなか、中学3年生2人が伝統の「浦安の舞」、小学生4人が「豊栄の舞」を奉納しました。黒田 明司宮司は「コロナ禍で巫女舞は中止してしまいましたが伝統を将来につなげるため、再開しました。感無量です」と話していました。



9/11 西原大神宮で秋の大祭
「にしぼるさん」が行われました

「にしぼるさん」は、「子どもの神様」として親しまれていて、子どもの誕生と健やかな成長を祈願するため多くの方が参拝しました。神の使いとされている鶏の絵が描かれた絵馬に子どもの年齢と名前を書いて奉納します。親子三代で参拝に訪れた女性は「毎年、参拝に来ています。子どもたちに関わる仕事なので、子どもたちが元気に成長するようにお願いしました」と笑顔で話していました。

